

2019年度（令和元年度）～2025年度（令和7年度）の出題傾向

問題番号	2019年度（令和元年度）	2021年度（令和3年度）	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）	2024年度（令和6年度）	2025年度（令和7年度）
17	山地と平野の相違点	地質構造を示す概念図とその名称	火山岩	深成岩の名称	山地の地形区分	地質構造を示す概念図とその名称
18	花崗岩	表層部に粗砂や礫などの粗粒堆積物が分布すると想定される地形	露頭状況（イラスト問題）	日本列島の地質体	地質時代	地形区分毎における建設工学上の問題点
19	地質時代	堆積岩の名称	火山現象	新生代の地質年代区分	測量の基本事項	特殊土
20	測量の基本事項	測量の基本事項	測量の基本事項	ボーリング地点の緯度・経度の読み取り	ボーリング地点の経度および緯度の読み取り	測量の基本事項
21	近年の測量技術	近年の測量技術	ボーリング地点の緯度・経度の読み取り	コンクリート	コンクリート	ボーリング地点の経度および緯度の読み取り
22	山岳トンネルの地質調査における留意点	一般的な建築物を建設する場合に必要な検討項目と地盤情報	構造物の基礎	土砂災害の種類とその特徴	一般的な構造物基礎の調査で用いられる原位置試験および孔内試験	トンネルの工法
23	ダムの調査手法	膨張性地山において把握しておくべき調査項目	ダムの地質調査	令和2年度 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書による地球環境問題	山岳トンネルの地質調査	令和6年度国土交通白書（自然災害対策）
24	地下水	土砂災害の種類とその特徴	地球温暖化に起因する影響	根切り工事において予想されるトラブル	地下水位	根切り工事における軟弱な粘性土が直接の原因となって発生するトラブル
25	土の強度・変形について検討する対象となる事項	地球温暖化対策計画における国交省の取組み	根切り工事における揚圧力による盤膨れ対策	締固め施工時の品質管理項目	第二種、第三種特定有害物質に係る土壤の採取方法	土の変形特性（応力とひずみの関係を示すグラフ問題）
26	軟弱地盤上の盛土施工の動態観測に用いられる測定項目と計測器	締固め特性	土壤汚染調査のボーリング作業	土壤汚染調査における表層土壤の採取と取り扱い方法	軟弱地盤盛土の動態観測に必要な測定項目と計器	軟弱地盤上の盛土における圧密沈下で誘発される恐れのある現象
27	FL値（液状化の簡易判定法）	地すべりの誘因	液状化が発生する可能性が高い地形	地すべりの調査観測項目とその成果	液状化しやすい地盤の特徴	液状化が発生する可能性が高い地形
28	地すべりの調査項目と成果	BIM/CIM	BIM/CIM	国交省におけるBIM/CIM	国交省の業務におけるBIM/CIM	地すべりの素因

※2020年度（令和2年度）試験は中止